

気仙沼市まち・ひと・しごと創生「総合戦略」 の進捗状況及び効果検証について

1 外部有識者等による進捗状況の確認と効果検証

- (1) 会議名 けせんぬま創生戦略会議
- (2) 日時 平成29年10月5日(木)
午後3時10分から午後4時10分まで
- (3) 出席委員 22名

2 市議会議員による進捗状況の確認と効果検証

- (1) 会議名 気仙沼市議会議員全体説明会
- (2) 日時 平成29年10月11日(水)
午後3時45分から午後4時10分まで
- (3) 出席議員 20名

平成29年10月
気仙沼市

目 次

(Ⅰ) 育成・誘致により産業を振興し、「安定した雇用」「新たな雇用」を創出する	1
Ⅰ-1-① ☆地場産品全国プロモーション事業	2
Ⅰ-1-② ○水産資源の多角的利用による新産業創出	3
Ⅰ-1-③ ◆輸出力増強事業（スローシティ×グローバル販売戦略「二兎追いプロジェクト」）	4
Ⅰ-2-① ☆創造的産業復興支援事業	5
Ⅰ-2-② ◆課題解決提案コンペ事業（起業を応援するスタートアップの港プロジェクト）	6
◎ローカルベンチャー推進事業	6
Ⅰ-3-① ◎企業誘致・新産業振興事業	7
Ⅰ-4-① ☆漁船乗組員確保・育成支援事業	8
Ⅰ-4-② ☆U I J ターン労働力定着化支援事業	9
Ⅰ-4-③ ☆介護マンパワー緊急確保対策事業	10
Ⅰ-4-④ ◎介護職員初任者研修（通信制）事業	11
(Ⅱ) 人と自然が共生するまちをつくり、気仙沼ファンを育て、新たな人の流れをつくる	13
Ⅱ-1-① ☆空き家等実態調査・定住促進事業	14
Ⅱ-1-② ◆I ターン支援事業（おらほの町のコンシェルジュ、I ターン予備軍爆増計画）	14
Ⅱ-2-① ◆気仙沼ファンクラブ拡大事業（真・気仙沼ファンクラブ）	15
Ⅱ-2-② ▲気仙沼市を中心とした三陸沿岸地域の日本版DMO構築事業	16
Ⅱ-3-① ○市外避難者情報提供	17
(Ⅲ) やさしさと安心に満ちたくらしを実現し、若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる	19
Ⅲ-1-① ▲婚活プロジェクト	20
Ⅲ-1-② ◎特定不妊治療費助成事業	21
Ⅲ-1-③ ◆子育て・イベントなど生活情報の発信強化（新しい気仙沼の楽しみ方発見事業）	22
Ⅲ-1-④ ◆多世代交流ハウス整備（子どもが真ん中プロジェクト）	23
Ⅲ-2-① ○健康づくり・介護予防各種事業	24
Ⅲ-2-② ▲市民農園	25
(Ⅳ) 協働と参加による自立した社会をつくり、安心で豊かなくらしを大切にす風土と心を育む	27
Ⅳ-1-① ○自治活動支援事業	28
Ⅳ-1-② ○まちづくり協議会活動支援	29
Ⅳ-1-③ ◎地域リーダー養成塾	30
Ⅳ-2-① ○郷土の可能性を高める教育の実践	31
Ⅳ-2-② ◆気仙沼らしい宿泊プラン開発（日本一朝ごはんが美味しい町にするプロジェクト）	32
Ⅳ-4-① ○地区津波避難計画策定	33
Ⅳ-4-② ○自主防災組織の育成強化	34
Ⅳ-4-③ ○避難行動要支援者避難支援の充実	35
Ⅳ-5-① ○文化遺産を活用したまちづくり	36
Ⅳ-5-② ◆小学生の地元のしごと場体験プログラム「ちよすワーク」	37
Ⅳ-5-③ ◆体験学習プログラム開発（けせんぬま学び応援プロジェクト）	38
Ⅳ-5-④ ◆地域のあそび体験の場創出（気仙沼アソビ発見・世代交流プログラム）	38
総合戦略の進捗状況に対する全般的な意見等	39

政策目標（Ⅰ） 育成・誘致により産業を振興し、「安定した雇用」「新たな雇用」を創出する

主な指標	単位	目標値	現況	実績値					達成率
		H31	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
◇製造品出荷額	億円	950	H25 578	H26 551	H27 未公表	H28	H29	H30	58.0%
◇市民の総所得金額	億円	681	605	643	682	712			104.6%
◇新規法人登記件数	件	20	30	20	28				140.0%
◇企業誘致件数	件	2	-	1	1				50.0%
◇高校新卒就職者中地元就職（内定）率	%	60	H27.3卒 55.3	H28.3卒 45.3	H29.3卒 55.0	H30.3卒	H31.3卒	H32.3卒	91.7%

総括	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> ● 首都圏の飲食店における「気仙沼メニューフェア」等を開催し、気仙沼ブランドの認知拡大や地元食材の販路拡大を図るとともに、水産資源活用研究会による水産資源を生かした高付加価値化商品等の開発や民間団体の海外市場への販路拡大支援などを行った。 ● 起業や地域資源等を活用して新たに事業展開する事業者を支援し、新産業の創出や雇用拡大を図るとともに、起業型・経営型人材を新たな担い手として受け入れ、地域資源を活用した新たな市場や経済の創出へ向けた取り組みを行った。 ● 県と連携した企業訪問やトップセールス等を行い、企業誘致に努めた。 ● 大手採用媒体と連携した人材募集、合同会社説明会、経営者・管理者・社員・内定者向け各種を実施し、市外からの人材採用と企業の採用スキル向上を図った。また、UIJ ターンによる漁船乗組員や介護・福祉人材を確保やスキル向上のため、就職支援や研修支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元食材の情報発信や水産資源を活用した研究・商品開発、輸出増大の取組みを継続し、販路拡大を図っていく。 ● 市内での起業や既存企業の新たな取組みを加速化する支援を行っていくとともに、他の自治体と連携したローカルベンチャーを推進していく。 ● 国、県等と連携した企業訪問やトップセールスのほか、本市に関心を持つ企業の掘り起しを行い、戦略的な企業誘致を実施する。 ● UIJ ターンによる労働力確保や採用スキル向上のため、合同会社説明会や各研修など民間主体の取組みを支援していくとともに、特に人材が不足する漁船乗組員や介護・福祉人材の採用を支援する。

けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等
<p>【けせんぬま創生戦略会議委員からの意見等】</p> <p>主な指標の製造品出荷額が未公表となっているが、いつごろ公表されるのか。今後は上向くのか下向くのか。市民の総所得金額が増えているが、同じような傾向をたどるのか。非常に関心がある。様々な指標を見ながら施策を打っていききたいので、他の指標も示していただきたい。</p> <p>【市回答】</p> <p>製造品出荷額については、県の工業統計の数値を使っており、公表まで2年くらいかかると思う。この指標は、平成22年の製造品出荷額1,051億の90%まで回復したいと設定した。水産加工会社の復旧復興状況をみると今後回復していくのではと思う。</p> <p>一方、市民の総所得金額は、復興事業関係も含まれるので復興特需もある。復興事業の時給が高いことによって、他の産業の時給が高くなっていることも影響している。</p> <p>他の関係する数値については、総計の審議会部会において示していきたい。</p>

施策 1 基幹産業の進化

整理番号	事業名			担当課					
I-1-1-①	☆地場産品全国プロモーション事業			商工課					
事業概要				実施内容					
<p>地元食材や地場産品を全国に情報発信すべく、産地と飲食店を結ぶ各種プロモーション事業を実施し、気仙沼食材のブランドイメージ向上や消費・販路拡大につなげる。</p>				<p><H27> 気仙沼と首都圏を中心とした飲食店を結ぶプロモーション事業として、飲食店のシェフ等に来市いただき「食材探しツアー」の開催、事業参加店舗ごとに気仙沼の食材を活用したメニューを開発し料理を提供する「気仙沼メニューフェア」を開催した。</p> <p><H28> 継続した地元食材の情報発信と、アピールショップとして設置した「気仙沼 PORT」事業に関連し、メニューフェアに参加いただいた横浜圏の店舗に協力いただきフェアを実施した。</p>					
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
新規取引件数 (累計)	H28.3	件	10	9	16				160.0%
KPI の達成状況や取組状況等				今後の方針					
<p><H27> フェア参加店舗のうち、フェア終了後も取引があった店舗：9店舗</p> <p><H28> 事業終了後、H28 年度末までに取引があった店舗：16 店舗 (内訳) フェア参加店舗：9 店舗 参加店舗からの紹介等により新たに取引があった店舗：2 店舗 フェア参加店舗の系列店舗で新たに取引があった店舗：5 店舗</p> <p>フェアの開催が KPI (新規取引件数) の達成に効果があった。</p>				<p>気仙沼の食材等に関する情報発信に努め、更なる販路開拓を目指す。</p>					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導PJ (分科会提案) ▲：公募PJ (含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規、拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名		担当課						
I-1-②	○水産資源の多角的利用による新産業創出 (H28 重点事業) 【平成 27 年度地方創生加速化交付金事業】		水産課						
事業概要			実施内容						
<p>新たな産業と雇用の創出に向け、気仙沼で水揚げされる全国的にシェアの高い水産資源、地域で生かされていない水産資源を活用し、機能的食品、化粧品、美容品製造などの高付加価値事業を構築し、「産・学・官」が連携した水産クラスターの形成を目指す。また、新規市場を開拓し、地域産業の振興を図るため、水産食品の需要が拡大している海外市場での販路拡大・開拓を目指す事業者団体を支援する。</p>			<p><H27> 地域素材の検討及び成分分析、地域資源を活用した商品開発、共通ロゴ等による販路開拓</p> <p><H28> 地域素材の検討及び成分分析、地域資源を活用した商品開発、共通ロゴ等による販路開拓、農林水産物等輸出化販路拡大支援</p>						
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
商品開発	H32.3	アイテム	10	3	5				50.0%
商品売上	H32.3	千円	30,000	7,089	16,400				54.7%
農林水産物輸出量	H32.3	トン	6,200	7,103	8,552				137.9%
KPI の達成状況や取組状況等				今後の方針					
<p><H27> 気仙沼水産資源活用研究会において、地域資源を活用した商品の開発を目指し、大手企業 OB や大学・研究機関のアドバイザーを交えた複数のワーキンググループを形成し、研究開発・商品開発について議論した。併せて、デザイナーと連携し、共通ロゴ等による販路開拓に取り組んだ。 大手企業等からの研究・商品開発プロセスの習得や事業実施体制の構築に時間を要し、商品開発は3アイテム、商品売上は7,089千円に留まった。</p> <p><H28> 前年度に引き続き、気仙沼水産資源活用研究会において、研究開発・商品開発の推進を図るとともに、プロモーション部会を新設し、販売機能の強化策の検討に着手した。 商品開発数は5アイテム、商品売上は16,400千円と、いずれも前年度を上回るものとなった。 また、海外市場の販路開拓を図るため、市内事業者が取り組む展示会・商談会への参加や、市場にあわせた商品開発等に対する補助事業を実施し、市内4団体に対して補助を行った。</p>				<p>研究・商品開発の更なる活性化を図るとともに、売上を増加させるため、販社等の販売機能について強化を図る。 また、輸出量の増大のための取り組みに対する支援についても、継続して実施する。</p>					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規、拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名					担当課			
I-1-③	◆輸出力増強事業 (スローシティ×グローバル販売戦略「二兎追いプロジェクト」)					水産課			
事業概要					実施内容				
新産業の創出や新商品の開発，世界への販路の切り開きなどを行う。					<H27> 未実施 <H28> 海外販路開拓セミナーの実施				
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
受講者 延べ	H29.3	人	50	0	30				60.0%
KPI の達成状況や取組状況等					今後の方針				
<H27> 農林水商工メンバーやスローフード関係者等の連携による事業実行組織の立ち上げができておらず，未実施。 <H28> 事業目的である，域内企業の海外販売力の底上げを図るため，海外販路開拓セミナーを実施し，30名程が受講した。					水産業，商工業，農林業のコラボ商品開発や，スローシティ認証都市との連携を進めるため，産業横断的なプロジェクトチームの立ち上げを進める。				
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等 意見等なし。									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規，拡充施策 ○：市現行施策

施策2 起業しやすい環境・新産業への挑戦

整理番号	事業名				担当課				
I-2-①	☆創造的産業復興支援事業				産業再生戦略課				
事業概要				実施内容					
<p>起業化又は地域資源等を活用し、新たに事業展開する事業者に対し、必要な経費を補助することで、地域に新たな産業を興し、雇用の場を創出する。</p>				<p><H27> 補助事業の実施（公募・採択・事業者補助・精算手続き）</p> <p><H28> 採択事業者への事業状況ヒアリング等の実施</p>					
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
新規雇用者	H28.3	件	20	18	18				90.0%
KPIの達成状況や取組状況等				今後の方針					
<p><H27> 補助事業者を公募したところ25事業者の応募があり、選考の上、4事業者への補助を実施した。それぞれの取組により合計18名の雇用の場が創出されたほか、本市の地域資源を活用した商品が開発され、新たな産品として継続的に販売されている。</p> <p><H28> 前年度採択事業者の状況把握のため、逐次状況確認を行ったほか、継続的に事業が行えるよう必要に応じてマッチング等の支援を実施した。</p>				<p>市内での起業に意欲のある方や新たな取組の意向がある企業がみられる。行政からの支援によりそれぞれの取組の加速化が期待できることから、継続的な事業の実施に努める。</p>					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規、拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名		担当課						
I-2-②	◆課題解決提案コンペ事業 (起業を応援するスタートアップの港プロジェクト) ◎ローカルベンチャー推進事業 【平成28年度地方創生推進交付金事業】		震災復興・企画課						
事業概要		実施内容							
気仙沼の資源を活用し、かつ既存の課題解決にも資する新たな事業を気仙沼で創出できる人材を発掘し、起業を支援する。		<H27> 未実施 <H28> コンペ事業は行っていないが、ローカルベンチャー推進事業の一環で「気仙沼チャレンジャーズピッチ vol.1」を実施、新事業を行おうとする挑戦者の短いプレゼンを通し支援者を募った。							
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
新規事業者 (期間累計)	H32.3	人	10	-	-				-
KPIの達成状況や取組状況等				今後の方針					
<H27> 未実施 <H28> 平成28年度事業による新規事業者は生まれていない。 平成28年度から、ローカルベンチャー推進事業として、人材誘致に先進的な取り組みを行う他の自治体と連携することにより、単一自治体では獲得困難な優秀な起業志望者を呼び込み育成する取り組みを行っている。起業型・経営型人材を新たな担い手として受け入れ、地域資源を活用した新たな市場や経済を創出することを促す。プレゼン開催や事前のメンタリング、現地調査受け入れなど、人材に対する包括的な取り組みをおこなうことにより、より持続的に気仙沼地域の産業活性化を図れる				今後は、ローカルベンチャー推進事業により類似・より包括的に事業を行って新事業創出人材を呼び込み支援し、起業につなげていく。					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規、拡充施策 ○：市現行施策

施策3 企業や教育研究・機関等の誘致

整理番号	事業名		担当課						
I-3-①	◎企業誘致・新産業振興事業		産業再生戦略課 水産課						
事業概要		実施内容							
<p>新たな産業の創出・振興のため、企業のみならず教育・研究機関、政府関係機関等も含めた幅広い誘致を推進する。</p>		<p>【産業再生戦略課】 <H27> 県と連携した企業訪問、トップセールス、宮城県企業立地セミナーへの参加（東京及び名古屋）、企業が主催し市が協賛するイベントや講演会等への参加による情報発信等 <H28> H27に同じ</p>	<p>【水産課】 <H27> 政府関係機関の地方移転公募に基づき、現 国立研究開発法人水産研究・教育機構（開発調査センター）の誘致活動を実施 <H28> 気仙沼連携研究協議会を設立</p>						
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
新規立地教育・研究機関及び政府関係機関（期間累計）	H32.3	機関	2	0	0				0.0%
新規立地事業所数（期間累計）	H32.3	社	10	1	2				20.0%
KPIの達成状況や取組状況等						今後の方針			
<p>【産業再生戦略課】 <H27> 企業誘致活動のほか、市が買い上げた移転元地や、統廃合した学校施設用地等の活用検討を進め、立地用地の確保に努めるとともに本市に関心を示す企業等にいち早く対応できるよう、立地可能性が見込まれる用地の地下水の水質及び地質、地盤にかかるボーリング調査、不動産鑑定評価等を実施し、工場等の適地確保に努めた。 <H28> H27に同じ。</p>		<p>【水産課】 <H27> 政府関係機関の地方移転公募に基づき、現 国立研究開発法人水産研究・教育機構（開発調査センター）の誘致活動を行ったが、平成28年3月に国（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局）から政府関係機関移転基本方針として、事務所機能の地方移転は行わず、地域拠点を活かした共同研究を展開する方針が示され、本市に関しては、地域拠点を活かした漁船漁業の経営安定に資する共同研究を展開することとなった。 <H28> 平成28年10月に水産関係団体等の関係者の連携のもと漁業現場や関係業界で必要としている研究を推進するため、地域からの研究テーマ等を協議する「気仙沼水産研究連携協議会」を設立し、共同研究に向けたテーマ等について検討を開始した。</p>		<p>【産業再生戦略課】 幅広い年齢層の多様なニーズに対応した働く場を確保するため、引き続き本市に関心を持つ企業の掘り起こしを行いながら、戦略的な企業誘致に努める。 【水産課】 共同研究テーマの検討を継続する。</p>					
<p>けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等</p>									
意見等なし。									

◆：先導PJ（分科会提案） ▲：公募PJ（含官民コラボ） ☆：市先行型事業 ◎：市新規、拡充施策 ○：市現行施策

施策 4 人材育成・雇用確保

整理番号	事業名		担当課						
I-4-①	☆漁船乗組員確保・育成支援事業		水産課						
事業概要		実施内容							
新規乗組員確保及び船舶職員の育成に向けた取組を支援する。		<p><H27> UIJ ターンにより新たに漁船乗組員として求職する者等の面接及び実技研修時における交通費等支援</p> <p><H28> UIJ ターンにより新たに漁船乗組員として求職する者等の面接及び実技研修時における交通費等支援</p>							
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
実技研修者	H28.3	人	20	5	7				35.0%
講習受講者	H28.3	人	10	1	0				0.0%
KPI の達成状況や取組状況等						今後の方針			
<p><H27> UIJ ターンにより新たに漁船乗組員となる者が実技研修を受講する際に支援を行った（5人）、また、船舶職員養成講習受講時の支援を行った（1人）</p> <p><H28> UIJ ターンにより新たに漁船乗組員となる者が実技研修を受講する際に支援を行った（7人）</p> <p>漁船乗組員として求職する者または内定者に対して求職活動等に係る諸経費に対する支援を行うことで新規漁船乗組員の安定確保につながった。</p>						<p>今後も事業を継続し、さらに新規就業者確保に関する求人から求職、就業に至る一連の雇用創出支援を検討する。</p>			
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規, 拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名		担当課						
I-4-②	☆UIJターン労働力定着化支援事業		商工課						
事業概要		実施内容							
地域の新たな産業の担い手である人材の採用と、その採用した人材が生き活きと働き、採用企業側のスキルアップも含め、「人と産業の育つ地域」の実現を目指す。		<p><H27> 採用媒体（リクナビ・リクナビネクスト）での人材募集，合同会社説明会の実施，経営者・管理者向けマネジメント研修の実施，中堅職員及び新採職員教育担当者向け研修の実施，内定者研修の実施</p> <p><H28> 一般社団法人気仙沼市住みよさ創造機構（平成27年度委託先）による自走（実施内容は前年度と同様）</p>							
KPI （重要業績評価指標）	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
求人応募者数	H28.3	人	50	526	459				918.0%
KPIの達成状況や取組状況等				今後の方針					
<p><H27> 参画企業数は10者，求人応募者数は，526人（新卒170人，中途356人）で，採用者数は22人（新卒11人，中途11人）となった。</p> <p><H28> 参画企業数は11者，求人応募者数は，459人（新卒74人，中途385人）で，採用者数は18人（新卒8人，中途10人）となった。</p> <p>27年度は市の委託事業として実施していたが，28年度から住みよさ創造機構の自主事業として実施している。</p>				<p>労働力確保と企業の採用スキル向上のため，民間主体で事業を継続していく。</p>					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導PJ（分科会提案） ▲：公募PJ（含官民コラボ） ☆：市先行型事業 ◎：市新規，拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名		担当課																																																																																						
I-4-③	☆介護マンパワー緊急確保対策事業		高齢介護課																																																																																						
事業概要			実施内容																																																																																						
<p>不足する介護・福祉マンパワーを確保するため、Uターン・Iターン・Jターン・潜在有資格者(介護・看護職員)、転職者等の介護サービス・障害福祉サービス事業所への就職等を支援する。</p> <p>不足する介護人材の確保及び介護人材のスキルアップを図り、地域における安定的で質の高いサービス提供体制を確立する。</p> <p>介護職場のイメージアップを図る取組みを実施する。</p>			<p><H27></p> <ul style="list-style-type: none"> 介護サービス・障害福祉サービス事業所へ就職した方に対し、移住費用助成金、就職助成金を交付 介護職員初任者研修を実施 <p><H28></p> <ul style="list-style-type: none"> 介護サービス・障害福祉サービス事業所へ就職した方に対し、移住費用助成金、就職助成金を交付 実務者研修受講者に対し奨励金を交付 介護職員初任者研修を実施 イメージアップポスター作成 																																																																																						
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率																																																																																
				H27	H28	H29	H30	H31																																																																																	
新規雇用者数 (期間累計)	H32.3	人	200	23	69				34.5%																																																																																
研修受講者 (期間累計)	H32.3	人	160	20	29				18.1%																																																																																
KPIの達成状況や取組状況等						今後の方針																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">事業内容</th> <th colspan="2">H27年度</th> <th colspan="2">H28年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">移住費用</td> <td>Uターン</td> <td>5人</td> <td>500,000</td> <td>10人</td> <td>500,000</td> </tr> <tr> <td>I・Jターン</td> <td>4人</td> <td>400,000</td> <td>6人</td> <td>300,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9人</td> <td>900,000</td> <td>16人</td> <td>800,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">就職助成金</td> <td>有資格者</td> <td>10人</td> <td>2,000,000</td> <td>33人</td> <td>3,300,000</td> </tr> <tr> <td>無資格者</td> <td>13人</td> <td>1,300,000</td> <td>13人</td> <td>650,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23人</td> <td>3,300,000</td> <td>46人</td> <td>3,950,000</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>実務者研修奨励金</td> <td></td> <td></td> <td>21人</td> <td>814,700</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>トライアル就労助成金</td> <td>0人</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>レスパイト(短期入所支援)事業</td> <td>4人</td> <td>189,400</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>イメージアップポスター</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>139,212</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>介護職員初任者研修(通学制)</td> <td>20人</td> <td>3,202,497</td> <td>9人</td> <td>2,710,827</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td></td> <td>7,591,897</td> <td></td> <td>8,414,739</td> </tr> </tbody> </table> <p>本事業により新規雇用者や研修受講者の増加に繋がり、マンパワー確保対策として有効なものになった。</p>						No.	事業内容	H27年度		H28年度		人数	金額	人数	金額	1	移住費用	Uターン	5人	500,000	10人	500,000	I・Jターン	4人	400,000	6人	300,000	計	9人	900,000	16人	800,000	2	就職助成金	有資格者	10人	2,000,000	33人	3,300,000	無資格者	13人	1,300,000	13人	650,000	計	23人	3,300,000	46人	3,950,000	3	実務者研修奨励金			21人	814,700	4	トライアル就労助成金	0人	0			5	レスパイト(短期入所支援)事業	4人	189,400			6	イメージアップポスター			-	139,212	7	介護職員初任者研修(通学制)	20人	3,202,497	9人	2,710,827		計		7,591,897		8,414,739	<p>本市においては、マンパワー不足はまだまだ深刻な課題であることから、引き続き事業を実施する。</p>			
No.	事業内容	H27年度		H28年度																																																																																					
		人数	金額	人数	金額																																																																																				
1	移住費用	Uターン	5人	500,000	10人	500,000																																																																																			
		I・Jターン	4人	400,000	6人	300,000																																																																																			
		計	9人	900,000	16人	800,000																																																																																			
2	就職助成金	有資格者	10人	2,000,000	33人	3,300,000																																																																																			
		無資格者	13人	1,300,000	13人	650,000																																																																																			
		計	23人	3,300,000	46人	3,950,000																																																																																			
3	実務者研修奨励金			21人	814,700																																																																																				
4	トライアル就労助成金	0人	0																																																																																						
5	レスパイト(短期入所支援)事業	4人	189,400																																																																																						
6	イメージアップポスター			-	139,212																																																																																				
7	介護職員初任者研修(通学制)	20人	3,202,497	9人	2,710,827																																																																																				
	計		7,591,897		8,414,739																																																																																				
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等																																																																																									
意見等なし。																																																																																									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規、拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名		担当課						
I-4-④	◎介護職員初任者研修（通信制）事業		高齢介護課						
事業概要		実施内容							
通信教育の方法により介護職員初任者研修を実施することで、これまで通学できなかった方の受講機会を広げ、不足する介護人材の確保及びスキルアップを行う。		<H27> 介護職員初任者研修（通信制）の実施 <H28> 未実施							
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
研修修了者	H28.3	人	20	17					85.0%
KPIの達成状況や取組状況等				今後の方針					
<H27> ・実施方法 通信制 通信形式約40時間 講習形式約90時間 (月約4日間、市内会場で実施) ・実施期間 平成27年12月10日～平成28年3月31日 ・委託事業者 特定非営利活動法人 なごみ ・受講費用 1万円(テキスト代等) ・受講対象者 市内に住所を有する者 市内の介護・福祉事業所に勤務するか勤務を希望する者 その他市長が認める者のうちいずれかに該当する者 ・実績 受講者数17人 <H28> 通信制は実施せず、通学制のみ実施した。				介護人材の確保及び介護の質の向上のため、引き続き通信制もしくは通学制の介護職員初任者研修を実施する。					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規、拡充施策 ○：市現行施策

政策目標（Ⅱ） 人と自然が共生するまちをつくり、気仙沼ファンを育て、新たな人の流れをつくる

主な指標	単位	目標値	現況	実績値					達成率
		H31	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
◇社会増減	人増	261	△ 301	△ 349	△ 194				-
◇ふるさと納税の寄附件数	万件	2	0.22	0.86	0.68				34.0%
	億円	3	0.57	1.34	1.49				49.7%
◇全国的な移住に関する機関からのあっせん数	世帯	20	-	1	1				5.0%
◇観光宿泊者数 〔参考指標〕	万人	H34 62	14.5	15.9	21.1				34.0%
◇市外避難者中帰郷希望者の帰郷割合	%	100	-	-	-				-

総括	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> ● 移住・定住支援センターによるワンストップ窓口や移住・定住支援専用サイトの開設など、移住・定住希望者への総合的な支援を行う体制を構築した。また、空き家の実態調査や所有者の意向確認結果を踏まえて、空き家バンク事業を開始し、空き家を活用した移住・定住の促進を図った。 ● ふるさと納税制度による寄附拡大のため、民間の専用サイト等によるPRやコールセンターの設置、寄附申込みから返礼品発送までの一元管理など、寄附者の利便性向上を図った。 ● 交流人口の増加を図るための取組みとして、気仙沼ファンクラブの会員拡大のための周知活動を行うとともに、本市におけるDMO構築に向けた、海外視察や観光アクティビティの開発、DMO運営組織立上げの検討等を行った。 ● 市外避難者に対して、気仙沼とのつながりを継続するため、広報けせんぬまやけせんぬま復興ニュースを送付した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本市への移住や定住を促進するため、移住・定住支援センターによる総合相談や空き家バンク事業を継続する。 ● ふるさと納税制度による寄附拡大のため、市場や寄附者の動向を分析し、効果的なPRを行っていく。 ● 引き続き気仙沼ファンクラブの会員拡大に努めるとともに、平成29年4月にDMOの運営組織として設立した気仙沼観光推進機構において、観光で稼げる地域経営の実現に向けた取り組みを進めていく。 ● 市外避難者に対して、気仙沼のまちの様子を伝え、帰郷を促すため、広報等の送付を継続する。

けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等
意見等なし。

施策1 Uターン等受入れ体制整備・第二市民積極的受入れ

整理番号	事業名		担当課						
Ⅱ-1-① Ⅱ-1-②	☆空き家等実態調査・定住促進事業 ◆Iターン支援事業（おらほの町のコンシェルジュ，Iターン予備軍爆増計画）（H28重点事業）		震災復興・企画課 環境課						
事業概要			実施内容						
<p>☆空き家等実態調査・定住促進事業 空き家やその跡地の活用を促進するため，市内の空き家等の実態を調査しデータベースを構築し，活用可能な空き家の総数や分布を把握する。 また，定住交流促進のための具体的な施策を展開する。</p> <p>◆Iターン支援事業 Iターン希望者の求める気仙沼の情報の収集・発信を始め，気仙沼移住者からの諸々の問合せ・相談に対し，一元的に対応する拠点を整える。 Iターン予備軍となる若者が気仙沼に短期・長期滞在するきっかけ（ワークキャンプ，フラッグシップインターンなど）を作る。</p>			<p><H27> ・空家実態調査，空家データベースの構築，所有者の意向調査</p> <p><H28> ・移住・定住支援センター設置 ・ワンストップ相談窓口開設 ・移住・定住支援専用サイトの開設 ・空き家バンク事業の開始 ・お試し移住受入プログラムの開発 ・気仙沼ファンの拡大・育成・交流イベントの開催</p>						
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
活用見込み空き家数	H28.3	件	150	80					53.3%
定住相談問合せ件数	H32.3	件	50	3	66				132.0%
空き家バンク成立	-	件	-	-	2				-
KPIの達成状況や取組状況等							今後の方針		
<p><H27> 空家の実態把握とデータベース化，所有者の意向確認等を行い，空家を活用した移住・定住促進施策を検討するための基礎資料を整備した。 利用可能空家件数は191件であったが，そのうち意向調査で空家バンクへの登録等を希望している件数は80件だった。 移住・定住促進に係る具体的な施策展開には至らなかったため，相談問合せ件数は3件に留まった。</p> <p><H28> 10月に産業センター「海の市」2階に移住・定住支援センター「MINATO」を設置。移住・定住に関するワンストップ相談窓口やHPの開設，空き家バンクの運営，お試し移住プログラムの開発，交流イベントの開催などを行った。 28年度の移住・定住に関する相談は66件と大幅に増加し，空き家バンクには，12件の物件登録，62件の利用登録があり，2件の成約があった。</p>							<p>移住・定住支援センターによる相談窓口や空き家バンク事業は，移住・定住の促進に有効であることから，今後も継続して実施する。</p>		
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
<p>【けせんぬま創生戦略会議委員からの意見等】 移住・定住支援センターを運営してきて，仙台からUターンしたいと思っている学生や若者がたくさんいることに気付いた。なぜ，Uターンして来ないのかアンケートを取ったところ，「しごと」が課題であることが分かった。移住・定住にとっても産業が最重要事項であることが見えてきたので，産業分野の取組みと連携して，移住者増加を図りたい。</p>									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規，拡充施策 ○：市現行施策

施策2 交流人口の拡大 戦略的プロモーション

整理番号	事業名		担当課						
Ⅱ-2-①	◆気仙沼ファンクラブ拡大事業（真・気仙沼ファンクラブ）		地域づくり推進課						
事業概要			実施内容						
各市民や各世帯からアプローチ(1人1ファン)し、気仙沼ファンクラブを充実させる。気仙沼ファンに欲しい情報をタイムリーに発信し、リピート訪問、気仙沼産品購入、マーケティング情報としての活用につなげる。			<H27> ・ふるさと納税をしていただいた方々へ気仙沼ファンクラブの周知を行った。 ・気仙沼ファンクラブ会員特典として、メールマガジンの発行や観光施設の入場料割引サービス等のほか、市内店舗の協力により、店舗ごとの独自サービスの提供を行っていただいた。 <H28> H27に同じ						
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
会員	H32.3	人	68,000	6,118	8,226				12.1%
KPIの達成状況や取組状況等				今後の方針					
・本市でボランティア活動をした方々やふるさと納税をいただいた方々に対し、気仙沼ファンクラブの周知案内を送付した。市内の宿泊施設等へのポスターの掲示や市ホームページでの周知を行っている。 ・入会した方々には、会員証の発行、気仙沼ファンクラブ通信を郵送およびメールにより届けている。 ・各市民や各世帯からのアプローチについては、目に見える形での取組みは行っていない。				引き続き、ふるさと納税をしていただいた方や派遣職員等へのPRを行うとともに、クルーカードとの連携などを検討し、会員拡大に努める。					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規, 拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名		担当課						
Ⅱ-2-②	▲気仙沼市を中心とした三陸沿岸地域の日本版DMO構築事業 (H28 重点事業)		観光課						
事業概要		実施内容							
地域単位での KGI・KPI を明確にし、マーケティング機能を有する DMO 体制を構築し、気仙沼独自の観光アクティビティの開発・運営など稼げる観光の仕組みを開発する。		<H27> ・海外先進地事例調査 ・独自の観光コンテンツ開発，運営システム構築 ・運営環境調査 <H28> ・マーケティング・マネジメントの仕組構築 ・観光コンテンツ等の開発・実施・改善 ・組織運営環境検討							
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
新規開発アクティビティ受入人数	H29.3	人	1,000	766	2,108				210.8%
KPI の達成状況や取組状況等						今後の方針			
<H27> ・スイス連邦ツェルマット視察の実施 ・新規開発アクティビティ開発：14 件，受入人数：766 人 ・マーケティング計画の作成 <H28> ・観光レポート（作成宿泊者数，観光施設利用者数等）の月次化 ・観光データベース構築に向けた気仙沼クルーカード導入実証実験の準備 ・観光コンテンツ等の開発：15 件，受入人数：2,108 人 ・ワークショップへの市民参加：107 人 ・観光に関する意思決定機関としての組織設立準備会の開催：4 回						平成 29 年 4 月に設立された「気仙沼観光推進機構」において、「観光で稼げる地域経営」の実現に向けた総合的な観光施策の意思決定と取組を進める			
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導 P J (分科会提案) ▲：公募 P J (含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規，拡充施策 ○：市現行施策

施策3 市外避難者等の帰郷支援

整理番号		事業名					担当課			
II-3-①		○市外避難者情報提供					秘書広報課			
事業概要				実施内容						
<p>気仙沼のまちの様子を定期的に伝え、気仙沼とのつながりを継続し、将来的な帰郷を促す。</p>				<p><H27> 広報けせんぬま、けせんぬま復興ニュースを月2回送付 (年度平均 771 世帯/回)</p> <p><H28> H27 に同じ (年度平均 658 世帯/回)</p>						
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率	
				H27	H28	H29	H30	H31		
市広報送付の継続	-	-	-	719	594				-	
KPI の達成状況や取組状況等						今後の方針				
<p><H27> 防災集団移転団地、災害公営住宅の完成等により、市外避難者が減少しており、送付数が年度初め 843 世帯から年度末 719 世帯に 124 減となっている。</p> <p><H28> 防災集団移転団地、災害公営住宅の完成等により、市外避難者が減少しており、送付数が年度初め 712 世帯から年度末 594 世帯に 118 減となっている。</p>						<p>市外避難者の状況を踏まえ、事業を継続する。</p>				
<p>けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等</p>										
<p>意見等なし。</p>										

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規, 拡充施策 ○：市現行施策

政策目標（Ⅲ） やさしさと安心に満ちた暮らしを実現し、若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる

主な指標	単位	目標値	現況	実績値					達成率
		H31	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
◇合計特殊出生率	-	1.44	1.47	1.31	1.50				104.2%
◇出生数	人	430	383	326	(概数) 356				82.8%
◇保育施設待機児童数	人	0	H27.4月 7	H28.4月 9	H29.4月 27	H30.4月	H31.4月	H32.4月	-
◇健康寿命（男性）	歳	80	78	77.84	未公表				97.3%
◇健康寿命（女性）	歳	86	82	84.80	未公表				98.6%

総括	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> ● 総合的な結婚・出産・子育て支援施策「プロジェクト1.90」の取り組みとして、独身男女の出会いの場を創出するための、民間が行う婚活イベントや啓発セミナーへの助成、また、出産や子育てに係る支援として、特定不妊治療費助成等の経済的支援の外、新たな取り組みとして、市公式ホームページに子育て特設サイト「ぼけっと」を開設し、各種支援制度やイベント等の情報発信を行った。 ● 高齢者の健康づくりや介護予防のための各種講座や研修等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● NPO や子育て世代等との意見交換や情報交換を継続しながら、結婚・出産・子育てに係る支援施策の検証や新たな施策の検討を行い、官民協働の取り組みを推進していく。 ● 高齢者の健康づくりや介護予防により効果的な事業の拡大を図るとともに、住民が中心となって取組めるよう支援していく。

けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等
意見等なし。

施策 1 未婚対策・出産支援・子育て支援

整理番号	事業名					担当課			
Ⅲ-1-①	▲婚活プロジェクト					震災復興・企画課			
事業概要					実施内容				
未婚者の出会い創出，結婚支援のため，各種セミナー等の開催，民間団体等の企画を支援するとともに，近隣自治体との連携イベントなど有効な手法の検討・実践を行う。					<H27> 未実施 <H28> 民間団体が行う婚活イベントや啓発セミナー等に対して，婚活支援事業補助金を交付。				
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
参加者中カップル率	H32.3	%	30	-	17				56.7%
KPI の達成状況や取組状況等					今後の方針				
平成 28 年 7 月から婚活支援事業補助金の事業募集を開始し，28 年度は，交流イベント 3 件，啓発イベント 1 件，交流・啓発イベント 1 件の計 5 件の事業に補助金を交付した。 イベントの延べ参加者数は，男 98 人，女 99 人（うち交流イベント参加者数は，男 64 人，女 66 人）となっており，そのうち 11 組のカップルが成立（主催者推計含む。）し，カップル率は 16.9% だった。 交流イベントによって，実際にカップルが成立しており，婚活イベントの支援が，独身男女の出会いのきっかけ作りに有効であると考えられる。					出会いの場の創出に有効であることから，当面事業を継続する。				
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等 意見等なし。									

◆：先導 P J (分科会提案) ▲：公募 P J (含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規，拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名					担当課			
Ⅲ-1-②	◎特定不妊治療費助成事業 (H28 重点事業)					健康増進課			
事業概要					実施内容				
不妊治療を続けている方の経済的・精神的な負担の軽減を図るとともに、健やかに子どもを産み育てられる環境づくりを推進する。					<H27><H28> 特定不妊治療を受けている方へ治療にかかる費用の一部を助成。				
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
事業申請者	H28.3	件	40	20	33				82.5%
相談件数	H28.3	件	40	14	18				45.0%
KPIの達成状況や取組状況等						今後の方針			
<H27> 平成27年より新規事業として開始し、平成27年度の申請延件数は20件。 <H28> 平成28年度申請延件数は33件と増加している。						引き続き、必要な方が申請できるよう、事業の継続とともに市ホームページや関係機関へ事業周知を図る。			
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等 意見等なし。									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規、拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名		担当課						
Ⅲ-1-③	◆子育て・イベントなど生活情報の発信強化 (新しい気仙沼の楽しみ方発見事業) (H28 重点事業)		子ども家庭課						
事業概要		実施内容							
気仙沼らしい若者の新しい娯楽をはじめとする 出会いや結婚、子育てに関する情報を集約し発信 する。		<H27> 未実施 <H28> 子育て情報誌発行 市公式ホームページに子育て特設サイト開設							
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
いいね！獲得	H29.3	いいね！	1,000						0.0%
ホームページア クセス数	-	-	-	-	1,631				-
KPIの達成状況や取組状況等				今後の方針					
市の総合的な子育て支援施策「プロジェクト 1.90」の取り組みと して、子育て情報誌の発行、市公式ホームページに子育て特設サイト 「ぼけっと」を新設し、子育て世代への情報発信の充実を図った。 また、プロジェクトの中で、子育て中の市民や子育て支援に関わる NPO等と情報発信の方法や内容について意見交換を行った。				引き続き、NPO等と連携し、情 報誌やホームページなどで、子育 て支援等の情報発信に努める。					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導P J (分科会提案) ▲：公募P J (含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規，拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名				担当課				
Ⅲ-1-④	◆多世代交流ハウス整備（子どもが真ん中プロジェクト）				子ども家庭課				
事業概要				実施内容					
地域が主体的に参画する子どもを中心とした居場所を作る。				<H27> 未実施 <H28> 未実施					
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
自主ボランティア組織結成	H29.3	-	-	-	-				-
KPIの達成状況や取組状況等				今後の方針					
平成29年5月に、市内で子育て支援の活動を行っているNPO団体が空き家を利用し、子どもが自由に遊べる場所を開設した。				地域における子どもの居場所づくりを行う団体を支援していく。					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等 意見等なし。									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規, 拡充施策 ○：市現行施策

施策 2 健康長寿社会の形成

整理番号	事業名		担当課						
Ⅲ-2-①	○健康づくり・介護予防各種事業		地域包括支援センター 健康増進課						
事業概要		実施内容							
いつまでも元気で、地域において自立した日常生活を送れるよう、各種健康づくり・介護予防、生きがいづくり事業を行う。		【地域包括支援センター】 <H27> ・新介護予防体操制作・普及 ・地域介護予防活動研修 <H28> ・介護予防サポーター養成講座 ・介護予防サポーターステップアップ講座 ・元気活動応援講座、地域介護予防活動研修	【健康増進課】 <H27> ・介護予防講座 <H28> ・介護予防講座 ・集いの場確保事業						
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
健康寿命 男性	H32.3	歳	80	77.84					97.3%
女性	H32.3	歳	86	84.80					98.6%
KPI の達成状況や取組状況等				今後の方針					
【地域包括支援センター】 <H27> 住民や関係機関と協力し、新たな介護予防体操を制作した。また、地域での継続的な活動の中で楽しく活かすことができるよう、レクリエーション活動の知識と技術を学ぶため、住民を対象に地域介護予防活動研修を行った。 <H28> 介護予防体操の普及を中心とした介護予防活動の核となるよう、介護予防サポーター養成講座と介護予防サポーターステップアップ研修を行った。また、リハビリテーション専門職の技術的支援を通じて、住民主体の介護予防が地域で展開できるよう元気活動応援講座を実施した。				【健康増進課】 <H27> 要介護状態にならないように介護予防に関する体操や講話を中学校区単位で公民館を会場に介護予防講座を実施。3会場で30回実施。延393人参加。 <H28> 介護予防講座の他に、介護予防に役立つ住民主体の集いの場づくりの立ち上げを支援するため、自治会館等で集いの場確保事業を実施。介護予防講座は、4会場で41回実施。延544人参加。集いの場確保事業は、3自治会で24回実施。延490人参加。				今後も、住民が中心となり、介護予防に取り組むことができるよう支援する。 また、更なる拡大に向けて、実施体制の見直しを図る。	
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等 意見等なし。									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規、拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名		担当課						
Ⅲ-2-②	▲市民農園		高齢介護課						
事業概要		実施内容							
<p>農業体験を通し、収穫の喜び、恵への感謝の醸成とともに、体力の維持、生きがいつくりなど健康づくりにも寄与する。</p>		<p><H27> 指定管理施設である気仙沼市本吉健康農園において、介護保険事業の保健福祉事業として介護認定を受けている方を対象に通所サービスを実施。</p> <p><H28> 指定管理施設である気仙沼市本吉健康農園において、市内に居住する60歳以上の高齢者を対象に、健康づくり、生きがいつくりを目的とした一般介護予防事業として実施。</p>							
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
健康寿命 男性	H32.3	歳	80	77.84					97.3%
女性	H32.3	歳	86	84.80					98.6%
KPIの達成状況や取組状況等							今後の方針		
<p>指定管理施設の本吉健康農園において野菜の栽培を行い、水やりや除草、採取などの園芸活動を通して、高齢者の健康維持・増進、生きがいつくりを進めることを目的として実施。</p> <p>平成27年度までは、要介護認定者を対象に通所サービスに準じたサービスを実施。</p> <p>平成28年度からは、介護保険制度改正により、新しい総合事業の開始にあわせ、利用対象者を要介護認定者だけではなく、市内に居住するすべての高齢者として実施し、介護予防と健康の維持増進を図ることを明確に位置づけている。</p> <p>指定管理者：社会福祉法人春圃会 協定期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日</p> <p><H27> 開園日数：103日 延べ利用者数：764人 <H28> 開園日数：149日 延べ利用者数：585人</p>							<p>園芸活動を通じて、高齢者の方の介護予防や身体的な健康維持・増進を図り、交流することの喜びや生きがいつくりにつながるよう事業を継続していく。</p>		
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
<p>【市議会議員からの意見等①】 本吉健康農園だけやればいいか。お年寄りだけでなく若い世代も含めて参加するのが市民農園だと思う。見直しの方を見ても、目標が健康寿命になっている。市としてずっとこのスタンスなのか。</p> <p>【市回答①】 市民農園に関しては、アンケート調査（需要調査）を行った。アンケートは、今年5月に1,300人を無作為抽出し、回収率27.2%、353人の回答があった。 「市の方で農園開設されたら利用したいか」という需要については、「すぐに利用したい」が14%、「将来的には利用したい」が28%、「利用しない、興味がない」が58%だった。 先行している市町村の例の調査もしたが、開設した後の維持管理、指導等、維持経費が掛かる様子。需要の見込みと余暇の活用、健康増進等のバランスを考え合わせながら、もう少し検討したい。</p> <p>【市議会議員からの意見等②】 健康農園は両極端な気がする。交流サロンを認めてもらって、面瀬ではふれあい農園をやっており、小規模でもやっているところはやっている。市で開設するとかいうことでなく、柔軟に農業体験ができる場所を増やしてほしい。</p>									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規、拡充施策 ○：市現行施策

政策目標（Ⅳ） 協働と参加による自立した社会をつくり、安心して豊かなくらしを大切にする風土と心を育む

主な指標	単位	目標値	現況	実績値					達成率
		H31	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
◇幸福感 調査平均値	-	6.7	-	5.6	-				83.6%
◇汚水処理人口普及率	%	50.6	H25 39.6	H26 40.0	H27 40.8	H28	H29	H30	80.6%
◇自主防災組織率（浸水地域の組織率）〔参考指標〕	%	H32 100	36.3	53.8	50.0				50.0%
◇避難訓練実施自治会	%	100	25.3	37.2	28.0				28.0%
◇海洋教育に取り組む学校	%	100	-	35	37				37.0%

総括	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> ● 各自治会への運営費等の補助のほか、復興まちづくり協議会への運営費の補助を行い、住民のコミュニティの維持・充実と地域の主体的なまちづくりを支援した。 また、地域や各分野の新たなリーダーとなる担い手育成のため、各種人材育成事業を実施した。 ● 学校において、研究機関や専門家の協力によって、ESDの推進や海洋教育を実践し、各地域特性に応じた特色ある教育活動を実施した。 ● 地球温暖化防止や公共用水域の水質保全のため、被災者の住宅再建に際し、太陽光発電設備設置や低炭素社会対応型浄化槽設置の支援を行った。 ● 地域の防災力向上のため、地区津波避難計画の策定支援や自主防災組織の育成強化のための訓練や講座の開催を行った。 ● 体験学習の誘致や地元の子どもが地域の魅力を知るきっかけとするため、気仙沼の仕事や自然を生かした体験プログラムを作成した。 ● 	<ul style="list-style-type: none"> ● ・新たなコミュニティづくりやまちづくり組織強化の取組を支援していくとともに、地域や各分野におけるリーダーの育成を継続していく。 ● 引き続き、学校におけるESDや海洋教育を実践していく。 ● 被災者の住宅再建にあたり、太陽光発電設備設置や低炭素社会対応型浄化槽設置の支援を継続していく。 ● 自主防災組織の育成強化の取組を継続するとともに、避難行動要支援者の避難支援の体制づくりを進める。 ● 子どもたちに地域の魅力を伝える機会を提供する活動を支援していく。

けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等
意見等なし。

施策 1 持続可能なコミュニティの維持

整理番号	事業名		担当課						
IV-1-①	○自治活動支援事業		地域づくり推進課						
事業概要		実施内容							
住民自治組織の主体的な活動を支援し、組織運営の円滑化とコミュニティの維持・充実を図る。		<H27> ・生活環境整備事業補助金（気仙沼・唐桑地域） ・集落振興事業補助金（本吉地域） ・施設・設備整備（市所有施設） ・コミュニティ助成事業（宝くじ事業）補助金 ・自治組織代表者会議の開催 <H28> H27 に同じ							
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
地域主体の活動率	H32.3	%	100	95	92				92.0%
KPI の達成状況や取組状況等				今後の方針					
震災で被災し、解散した自治会が多く再度組織するのが難しい状況である。 また、復興事業で住宅再建が進み行政区の新設や再編が進んでいるが自治会を組織するまでには至っていない行政区がある。 <H27> 250 行政区に対し、237 行政区で自治会が組織されている。 <H28> 251 行政区に対し、230 行政区で自治会が組織されている。				被災による行政区の新設や再編による新しいコミュニティについて関係機関と連携しながら組織化について支援する。					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導 P J (分科会提案) ▲：公募 P J (含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規，拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名		担当課						
IV-1-②	〇まちづくり協議会活動支援		地域づくり推進課						
事業概要		実施内容							
住民自らが主体となっていく居住地域の復興まちづくりや地域コミュニティ形成を促進するため、運営経費やアドバイザーの派遣などの活動支援を行う。		<H27> ・復興まちづくり協議会運営費補助 5件 <H28> ・復興まちづくり協議会運営費補助 9件							
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
地域主体の活動率	H32.3	%	100	56	78				78.0%
KPIの達成状況や取組状況等				今後の方針					
まちづくり組織の活動や体制を強化するため、復興まちづくり協議会に対し運営費を補助した。 <H27> 9地区のうち5地区に協議会が結成 <H28> 9地区のうち7地区に協議会が結成				まちづくり組織の活動や体制を強化するため、復興まちづくり協議会運営費補助の交付のほか、地域の実情及び社会情勢の変化に応じた地域の維持及び活性化を図ることを目的とした気仙沼市地域活性化支援員の配置を行う。					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規、拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名				担当課				
IV-1-③	◎地域リーダー養成塾 (H28 重点事業)				地域づくり推進課				
事業概要				実施内容					
<p>地域コミュニティの活性化を図るため、担い手不足が叫ばれている地域リーダーの育成が重要であることから、シニアや女性を対象に地域リーダー養成塾を行う。</p>				<p><H27> まちづくりの担い手育成支援として、地域の魅力再発見プロジェクトまち歩き、地域コミュニティ勉強会「気仙ぬま塾」、まちづくり交流会「ぬまトーク」「交流会」、地域コミュニティ実践型勉強「ぬま大学」を開催した。</p> <p><H28> まちづくりの担い手育成支援として、地域コミュニティ勉強会「気仙ぬま塾」、まちづくり交流会「ぬまトーク」、地域コミュニティ実践型勉強「ぬま大学」、気仙沼わかもの会議「ぬま会」、アクティブコミュニティ大学、女性人材育成支援事業「アクティブ・ウーマンズ・カレッジ」を開催した。</p>					
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
受講者	H28.3	人/年	100	294	304				304.0%
KPI の達成状況や取組状況等						今後の方針			
<p><H27></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力再発見プロジェクトまち歩き 3回 地域コミュニティ勉強会 気仙ぬま塾 5回 まちづくり交流会 ぬまトーク・交流会 2回 地域コミュニティ実践型勉強 ぬま大学 6回 <p>※延べ 294 名の参加</p> <p><H28></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティ勉強会 気仙ぬま塾 5回 まちづくり交流会 ぬまトーク 4回 地域コミュニティ実践型勉強 ぬま大学 6回 気仙沼わかもの会議 ぬま会 2回 アクティブコミュニティ大学 13回 女性人材育成支援事業 アクティブ・ウーマンズ・カレッジ 7回 <p>※延べ 304 名の参加</p> <p>各事業の受講者が目標値を大幅に上回り、地域や各分野における人材育成に成果があった。</p>						<p>地域や各分野のリーダーとなる人材育成のため、事業を継続する。</p>			
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導P J (分科会提案) ▲：公募P J (含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規，拡充施策 ○：市現行施策

施策2 地域らしさ・スローライフの推進

整理番号	事業名				担当課					
IV-2-①	○郷土の可能性を高める教育の実践				学校教育課					
事業概要				実施内容						
郷土の自然や伝統文化、被災体験を基に郷土の可能性を高める特色あるふるさと教育などを、各学校が立地する環境に合わせ実践する。				<p><H27> ESDの推進をベースに、各学校の地域特性に応じた体験活動を実践した。</p> <p><H28> 新たに海洋教育実践校を10校1園に増やし、養殖体験や磯遊び、海流に関する科学的実験等を実践し、海洋教育こどもサミット in 東北を気仙沼で開催した。世界遺産学習全国大会 in 平泉で産金地帯の学習の実践を馬籠小が発表し、ジオ環境に関する学習の可能性を示した。</p>						
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率	
				H27	H28	H29	H30	H31		
実践校	H28.3	%	100	100	100				100.0%	
KPIの達成状況や取組状況等				今後の方針						
<p><H27> 地域の実情としてこれまでのような学習支援がなかなか行えないでいたが、社会教育と学校教育の融合事業が復活し、唐桑地区で網起こしが再開されるなど、震災前から継続されていた特色ある教育活動が復活するなど、改めてその重要性に着目した。</p> <p><H28> 体験活動をさらに一歩進め、研究機関や専門的立場の人の協力を得て、探究型の学習を創り上げたり、発表の機会や他地域の子どもたちとの交流を基にして、学びの質を高めようとする動きが進んだ。</p>				<p>震災後の各地域の実情に応じて、関係先や学習内容そのものなどを見直し、仕立て直しをする。実施率は達成しているため、より質の高い教育の実践を進める。</p>						
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等										
意見等なし。										

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規、拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名		担当課						
IV-2-②	◆気仙沼らしい宿泊プラン開発 (日本一朝ごはんが美味しい町にするプロジェクト)		観光課						
事業概要		実施内容							
気仙沼の素材を生かした、特に朝ごはんメニューの商品開発を行い、ホテルプランへの登用や朝ごはんが食べられる店の開店を働きかける。		<H27> 未実施 <H28> 未実施							
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
食を気仙沼の魅力と 感じる人	H32.3	%	50	-	-				-
KPIの達成状況や取組状況等				今後の方針					
<H27> 未実施 <H28> 未実施				気仙沼観光推進機構の重点テーマの一つとして検討する。					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規, 拡充施策 ○：市現行施策

施策4 安全・安心なまちの実現

整理番号	事業名				担当課				
IV-4-①	○地区津波避難計画策定				危機管理課				
事業概要				実施内容					
津波避難に関する情報を掲載した計画を住民と協働で作成し、今後の津波災害に備える。				<H27> ・地区避難計画ワークショップを開催し、避難計画を作成 ・避難計画を各戸等へ配布 <H28> H27と同じ					
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
浸水地区の計画策定(累計)	H32.3	-	完了	8	14				100.0%
KPIの達成状況や取組状況等						今後の方針			
<H27> 気仙沼西、鹿折、大島、唐桑の4地区で地域や関係団体の方々と地区津波避難計画ワークショップを開催し、避難計画を作成した。 作成した避難計画は、各戸等へ配布した。 <H28> 南気仙沼、松岩、小原木、小泉、津谷、大谷の6地区で地域や関係団体の方々と地区津波避難計画ワークショップを開催し、避難計画を作成した。 作成した避難計画は、各戸等へ配布した。 市内14地区全ての津波避難計画の策定が終了した。(H26~H28)						地域や学校、企業などの避難計画の検討に活用していただくとともに、市津波総合防災訓練においても、地域全体で共有できるよう啓発に努める。今後、沿岸部の復興に併せて、随時避難計画の見直しを行う。			
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導P J (分科会提案) ▲：公募P J (含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規, 拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名				担当課				
IV-4-②	○自主防災組織の育成強化				危機管理課				
事業概要				実施内容					
<p>防災講座の実施や市津波総合防災訓練への参加を促し、地域におけるコミュニティ育成と災害時の地域住民等の連携による活動を推進する。また、集会施設の新築・建て替え補助の条件として、自主防災組織の設立を促している。</p>				<p><H27></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災講座，防災指導員養成講習会の開催，市津波総合防災訓練への参加要請等 ・市自主防災組織連絡協議会と連携した防災研修会の開催 <p><H28></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災講座，防災指導員養成講習会の開催，市津波総合防災訓練への参加要請等 ・コミュニティ助成事業による防災資機材の整備 ・市自主防災組織連絡協議会と連携した防災研修会，防災意見交換会の開催 					
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
自主防災組織結成率	H32.3	%	100	45.5	48.3				48.3%
KPIの達成状況や取組状況等						今後の方針			
<p><H27></p> <p>防災講座，防災指導員養成講習会の開催，市津波総合防災訓練への参加要請等を行った。</p> <p>また，平成27年3月27日に設立した市自主防災組織連絡協議会と連携し，防災研修会を開催した。</p> <p><H28></p> <p>防災講座，防災指導員養成講習会の開催，市津波総合防災訓練への参加要請等を行った。</p> <p>コミュニティ助成事業により，防災資機材を3組織に整備した。</p> <p>また，市自主防災組織連絡協議会と連携し，防災研修会，防災意見交換会を実施した。</p> <p>自主防災組織の結成率は，6組織が新たに結成し，48.3%となった。</p>						<p>防災講座，防災指導員養成講習会の開催，市津波総合防災訓練への参加要請等を継続するとともに，引き続き市自主防災組織の結成に向けた事業を実施する。</p>			
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規，拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名		担当課						
IV-4-③	○避難行動要支援者避難支援の充実		危機管理課 高齢介護課 社会福祉課						
事業概要			実施内容						
高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、外国人等の要配慮者のうち、特に配慮が必要となる避難行動要支援者に対する避難訓練や災害時の避難支援等を定め、災害時における避難支援を円滑に進める。			<p><H27></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者名簿の提供（年2回） ・自治会長，行政委員，民生委員への説明会実施 ・モデル地区で避難支援個別計画の策定 <p><H28></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者名簿の提供（年2回） ・「広報けせんぬま」にて登録啓発記事掲載 ・新任自治会長，行政委員，民生委員への説明会実施 ・気仙沼中央自治連と意見交換会 						
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
避難支援個別計画の策定	H32.3	%	100	1.0	9.2				9.2%
KPIの達成状況や取組状況等				今後の方針					
<p><H27></p> <p>自治会長，行政委員，民生委員への説明会を実施した。 モデル地区（滝の入2区，上町区）で避難支援個別計画を策定した。</p> <p><H28></p> <p>避難支援個別計画策定に向けた説明会を市内9か所で実施した。 災害警戒区域に該当している自治会を中心に市から説明会開催の呼びかけを行い実施した。 気仙沼中央自治連との意見交換会を実施し，避難支援個別計画の策定を依頼した。自治会内の防災体制が整っていないなど個別計画策定への課題が見られる。</p>				<p>避難支援個別計画の策定完了に向けて，災害警戒区域に該当する自治会を中心に避難支援個別計画策定を依頼。また必要な場合，説明会やワークショップを実施し策定を進める。</p>					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
<p>【けせんぬま創生戦略会議委員からの意見等】</p> <p>KPI「避難支援個別計画の策定」の達成率が低い。災害時に困っている人が居るのに，手を差し伸べない社会はおかしい。問題点を突っ込んで議論し，従来の方針を見直す必要があるのではないか。</p> <p>【市回答】</p> <p>出来ていない地区は，なぜ上手く回らないのか課題や要因の分析が必要。どのような条件が整えば地域の協力が得られるのか，地域の方々とお話をしながらやっていきたい。</p>									

◆：先導P J (分科会提案) ▲：公募P J (含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規，拡充施策 ○：市現行施策

施策5 ふるさと教育の実践

整理番号	事業名				担当課				
IV-5-①	○文化遺産を活用したまちづくり				生涯学習課				
事業概要				実施内容					
地域の文化遺産を保存・継承し、次世代へ継承発展させ、復興まちづくりに反映させるため、観光・文化等の関係機関・団体、地域住民、大学等と連携協力しながら、普及啓発・継承・調査研究等を実施する。				<p><H27> 地域の文化遺産再発見事業，唐桑大漁唄込普及啓発事業，震災復興に活かす港町気仙沼の文化遺産総合調査</p> <p><H28> 民俗芸能のつどい，地域の文化遺産再発見事業，内湾地区（風待ち地区）国登録有形文化財群保存活用事業</p>					
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
参加者	H28.3	名	30	630	1,000				3333.3%
KPIの達成状況や取組状況等				今後の方針					
<p><H27> 文化庁文化遺産を活かした地域活性化事業を活用し、市内の文化、観光等関連団体と連携した実行委員会形式で実施。市の文化財保護強調月間（11月）を中心に地域の文化遺産再発見事業として、「文化財公開の日」、地域に伝わる民話の魅力や地域資源としての価値を考える「民話を聞く会」、郷土の歴史文化のテーマで専門家を講師に地元学「けせんぬま学講座」を開催。市民の地域の歴史文化に興味関心が高いことが分かった。唐桑大漁唄込等普及啓発事業では、伝統芸能のモニタツアーやシンポジウムを開催。伝統芸能を通じた交流人口の拡大や情報発信、保存会の後継者養成等の取組を行った。内湾地区の国登録文化財を復興まちづくりに活かすための調査や具体的活用策を検討した。</p> <p><H28> 「民俗芸能のつどい」や「ふるさとの民話のつどい」、文化財公開イベント、文化財修復現場見学会等を継続して開催した。市民や観光客が文化遺産に足を運ぶ動機づけとなり、文化遺産に対する理解や郷土愛を育むとともに、観光資源としても活用することが期待できる。</p>				文化遺産を活用したまちづくり事業は、今後とも継続して実施する。					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導P J (分科会提案) ▲：公募P J (含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規，拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名				担当課				
IV-5-②	◆小学生の地元のしごと場体験プログラム「ちょすワーク」				震災復興・企画課				
事業概要				実施内容					
子どもが地域の仕事に触れるキッカケをコーディネートする。				<H27> 気仙沼青年会議所主催の気仙沼キッズワークタウン実施。 <H28> H27 に同じ					
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
参加子ども数 (期間累計)	H32.3	人	480	91	158	256			53.3%
KPI の達成状況や取組状況等				今後の方針					
<H27> 気仙沼青年会議所が、小学校4～6年生を対象とした職業体験プログラム「気仙沼キッズワークタウン」を開催。91人の小学生が、消防士や菓子屋、漁具屋、新聞記者など20種類の職業体験を行った。 <H28> 前年度同様に「気仙沼キッズワークタウン」を開催。67人の小学生が、消防士や菓子店、氷屋、蒲鉾屋など13種類の職業体験を行った。				事業の継続を支援していく。					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導PJ(分科会提案) ▲：公募PJ(含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規, 拡充施策 ○：市現行施策

整理番号	事業名		担当課						
IV-5-③	◆体験学習プログラム開発（けせんぬま学び応援プロジェクト）		観光課						
IV-5-④	◆地域のあそび体験の場創出（気仙沼アソビ発見・世代交流プログラム）								
事業概要		実施内容							
<p>◆体験学習プログラム開発 気仙沼の海・山・川などの自然環境や気仙沼の地域資源を生かした体験学習プログラムを作成し、体験学習の誘致等を図る。</p> <p>◆地域のあそび体験の場創出 子どもたちが遊びを通して、気仙沼の海・山・人など地域の魅力を知るプログラムを実施する。</p>		<p><H27> 気仙沼版 DMO 構築事業のなかでコンテンツ開発を実施</p> <p><H28> 27年度に同じ</p>							
KPI (重要業績評価指標)	目標年月	単位	目標値	実績値					達成率
				H27	H28	H29	H30	H31	
体験学習受入数 (プログラム参加人数)	H32.3	人	10,000	766	2,108				21.1%
KPIの達成状況や取組状況等				今後の方針					
<p><H27> 「しごと場 あそび場 ちょいのぞき気仙沼」参加者：766人</p> <p><H28> 同参加者：2,108人</p>				<p>気仙沼観光推進機構の重点テーマの一つとして支援をしつつ自走化を促す。</p>					
けせんぬま創生戦略会議委員及び市議会議員からの意見等									
意見等なし。									

◆：先導P J (分科会提案) ▲：公募P J (含官民コラボ) ☆：市先行型事業 ◎：市新規，拡充施策 ○：市現行施策

全般的な意見等

【けせんぬま創生戦略会議委員からの意見等】

分科会提案プロジェクトの進捗が思わしくない。市民の挑戦を支え、完成度を高めて市民と一緒にやっていくことが大事。サポート体制について検討いただきたい。

【回答】

分科会提案事業は、事業を始めているものが結構ある。行政主体の事業もあれば、民間が始めたものもある。行政計画ではあるが、市民ワークショップを開催して検討してきた経過を踏まえて、民間事業も入れ込んでいる。

例えば、小学生の地元の仕事場体験プログラム「ちょすワーク」については、青年会議所主催の「気仙沼キッズワークタウン」という事業が行われている。行政としてはタッチしていないが、民間主導で進んでいる。今回は、民間主導の事業も進捗状況を記載している。

「日本一朝ごはん美味しい町にするプロジェクト」は、未実施であるが、観光関係の事業については、DMOを立ち上げ、その中で必要であれば検討していくことになる。

応援の仕組みとしては、ローカルベンチャーが、挑戦する人をどう応援するかという事業。チャレンジしたい人にプレゼンをしてもらい、応援したい人とのマッチングするイベントを開催した。挑戦者を応援するまちづくりをしていきたい。